

東京富士大学様 講演!

学務システムを

“カスタマイズなし”

で導入する方法

標準化とクラウドで変わる運用



パナソニックデジタル
守谷 浩利

学校法人東京富士大学
舛田 大樹様

本日の参加者



守谷 浩利

Moriya Hirotoshi

パナソニック デジタル株式会社
営業推進統括部
教育・施設ソリューション営業推進部
東日本営業所
スペシャリスト



QRコードを読み取っていただくことで
オンライン名刺交換ができます

[経歴]

- 2007年 基幹業務PKGメーカー 法人営業
- 2014年 パナソニックIS(現パナソニックデジタル)入社 中堅企業向けERP担当
- 2017年 文教・自治体市場担当営業に異動

[趣味]

ランニング(ダイエットのために。)

サッカー観戦、ロードバイク

[活動]

大学内のPC教室管理システムを中心に提案活動を実施。

前担当での知識を活かし、大学様のバックオフィス効率化支援のご提案活動を実施。

会社概要

会社名 パナソニック デジタル株式会社
Panasonic Digital Co., Ltd.

本社所在地 【大阪本社】
〒530-0053
大阪府大阪市北区末広町2番40号
Panasonic XC OSAKA



【東京本社】
〒104-0061
東京都中央区銀座8丁目21番1号
住友不動産汐留浜離宮ビル



代表者 代表取締役 社長執行役員 阿部 裕

設立年月日 2026年4月1日

社員数 約2,200名

資本金 1,040百万円

パナソニック グループでの当社の位置づけ

パナソニック ホールディングス株式会社

パナソニック オペレーショナルエクセレンス株式会社

パナソニック デジタル株式会社
お客様の「暮らし」・「しごと」に寄り添った
DX・ITソリューションを展開

パナソニック コネクト株式会社

パナソニックエレクトリックワークス株式会社

パナソニック HVAC & CC株式会社

パナソニック エナジー株式会社

パナソニック インダストリー株式会社

パナソニック株式会社

5つの重点ソリューションとIT基盤構築・データ分析・AI技術で

お客様のビジネス課題を包括的に解決し、競争力を強化します

ERP/CRM



経営資源と顧客情報を一元管理し、業務最適化・顧客満足度向上・売上拡大を支援

製造DX



製造現場のデジタル化・高度化で、生産性向上や品質改善を継続的に支援

ICTセキュリティ



パナソニック内で実践したノウハウで、安全で信頼性の高いデジタル環境を支援

教育・施設SOL



学習環境や各種施設の運営をICTで最適化し、円滑な運用と学びの質の向上を支援

業務DX



デジタル化による特定の業務に特化したデサービスで、業務効率化および生産性向上を支援

データ分析 / AI

ICT基盤構築・運用



舩田 大樹

Masuda Daiki

学校法人 東京富士大学
システム管理部 部長

[経歴]

- 2023年 学校法人東京富士大学 入職
- 2026年 現職

[趣味]

ゴルフ
カメラ

[活動]

メーカー系SE職を30余年経験し、現職に至る
現職では、学内ICT基盤の管理・運用を担務
教学システムの導入経験は、今回のプロジェクトが初めて

大学名 学校法人東京富士大学

学生数 約900名

所在地 東京都新宿区高田馬場

学部・学科 経営学部 経営学科・イベントプロデュース学科

創立 前身「東亜学院」1943年創立

大学院 経営学研究科

歴史と伝統のある 経営に強い大学

- **1943年**創立、歴史と伝統ある大学です。
- 簿記・会計教育に強く、**500名**を超える税理士を輩出。
経営に特化した大学として、実践的な学習プログラムを展開してきました。
- **高田馬場駅**から**3分**の至近距離。
都心の立地を活かしつつ、「社会で輝く力」の教育〈実務IQ教育〉に力を入れています。

経営学科

社会に求められる“**生きた**”経営学を学ぶ

経営学部

イベントプロデュース学科

人々が求める“**驚き**”や“**感動**”を伝える

学習プログラム 3つ の魅力

1 社会で輝く人材育成

人口減少に悩む地域の活性化にチャレンジしたり、人材募集や販路開拓に悩む中小企業の課題に対して解決策を提案していく中で、**社会で輝くために必要な力を育てます**



▲伊豆半島での地域創生プロジェクト

2 仕事で活かす経営学

豊かな実務経験を持つ教員による授業や、企業との連携、ベンチャービジネス立ち上げ体験などを通じ、**生きた力を培っていきます**



▲地域の特産品を活用したメニュー開発に挑戦

3 新宿で学ぶ実践的授業

社会やビジネスをより深く理解し、実践的な視点も取り入れながら**興味関心を高めていくことができます**



▲新宿開催イベント「染の小道」運営に参画

Q、CampusPlan導入の背景は？

A、

- 10年以上前に導入したシステムが大きな要因
属人化や容易に改修できない
- 大学独自機能を外部に構築したため、
ハードウェア更新も容易にできない状態に。



システムの一元化とスケーラビリティを確保するために
リプレースへ

Q、新学務システムの選定基準は？

A、

- 大前提として、「PKGに業務をあわせる」という方針
- クラウドシステム
- 属人化の排除

教学システム更新における3つのポイント

①標準化

- パッケージの標準業務フローに本学の業務を合わせる
- 「こぼれ」を捨て、やり方を変える
- 不要な業務を捨てる

②自立

- 実際にパッケージの標準機能を利用しながら、大学の業務をロールプレイする。各部門で責任を持って、パッケージを運用、運用する
- 大学の学事日程、イベントに沿って各部門の担う役割／仕事を再定義する（業務フローを作成する）

③刷新

- 一体化したパッケージシステムを採用し、システム間データ連携の手間、運用ミスをなくす
- 学生が適時適切に自身の情報（履修状況、成績情報）を得られるシステムを選定する
- クラウドサービスとして提供されるパッケージシステムを選定する（本学でサーバーを持たない）

© TOKYO FUJI UNIVERSITY 2023

新「教学システム」で実現

- ✓ パッケージに大学の業務を合わせて**標準化**する
- ✓ 属人化を排除し、各部門が**自立**して業務を推進できる
- ✓ 保守切れの不安を低減するクラウドシステムに**刷新**する

© TOKYO FUJI UNIVERSITY 2023

Q、新学務システムの選定方法は？

A、

- ・3社で比較検討
- ・ポイントは2つ
 - ①標準機能の充実
 - ②サポート体制

Q、CampusPlan選定の決め手は？

- A、
- 標準機能が豊富
 - CampusPlanの導入実績
 - 東京富士大学に一番合っているシステム

Q、新学務システムの導入スケジュールは？

- A、
- ・2024年4月～9月
 - ・データ移行と並行して、
インストラクト及び外部ツールの作成を実施
 - ・運用は2024年9月から

Q、新学務システムの導入時に苦労した点は？

A、

- 学期途中での本番稼働は、
想定通り運用側に手間がかかった
- 既存システムはカスタマイズが多かったため、
CampusPlanの標準機能にあわせる点は反発はあった。
- 異なるシステム間のデータ移行もハードルがあった。

Q、約1年半CampusPlan利用した感想は？

A、

- 一通りの学事日程はこなせたため、運用に慣れてきた
 - もう一巡すれば、さらに効率化が見込める
 - 標準機能にあわせても、
致命的な問題がないことがわかったのは大きなメリット
- ※ただし、細かい点でカスタマイズしたい、という要望はある。。

Q、「パッケージに業務を合わせる」
「属人化の排除」
は達成できたのか

A、

- 「パッケージに業務を合わせる」 →達成
- 「属人化の排除」 →利用開始後に、
担当者の部署異動があったが対応できたので、
ある程度は達成できたと考えている。
ただし、まだ属人化が0ではない。
- 業務観点では「シンプル」「簡単」になった印象
処理日付の変更で、過去や未来の状態を確認・運用
ができるのは秀逸

Q、今後の将来展望は？

A、

- 学生に関わるデータを一元管理したい要望がある。
入口(入学)から出口(卒業後)までを管理していきたい
- CampusPlanと他ソリューションを組み合わせて提案・
支援できるのがパナソニックの強みなので、
今後の更なる提案に期待したい。

CampusPlaniや学務システムについてもっと詳しく知りたい方へ

お気軽にお問い合わせください

お問い合わせ

